

## 平成27年美濃加茂市教育委員会 8月定例会 会議録

### 1 開会日時及び場所

平成27年8月21日（金）午後3時00分から午後4時55分まで  
美濃加茂市生涯学習センター2階 202号室

### 2 出席者

（教育委員）

委員長 安江 ちか子  
委員 渡邊 須美樹  
委員 横堀 優子  
委員 加納 義章  
委員 矢島 良子  
教育長 日比野 安平

（事務局）

事務局長 小田島 史佳  
学校教育課長 古川 一男  
教育センター次長 中島 永至  
教育総務課課長補佐 長谷川 壮重

（説明のために出席した者）

文化振興課係長 村瀬 英彦

### 3 開会 午後3時00分

### 4 議事日程等

（1）教育委員長あいさつ

（2）教育長報告

（3）4月定例会会議録の承認について

（4）議題

1. 議第5号 美濃加茂市の文化財の指定について

（指定物件「史跡 旧太田宿本陣跡」）

2. 議第6号 平成26年度 美濃加茂市教育委員会事務の点検・評価について

3. 議第7号 平成27年度一般会計補正予算について

（5）協議・報告事項

（6）その他

1. 教育センター

2. 学校教育課の行事予定

# 会 議 録

## (1) 委員長あいさつ

安江委員長

※委員長から開会のあいさつ

## (2) 教育長報告

日比野教育長

※教育長からの報告

- ・夏休み明けの9月1日に児童生徒の自殺件数が多い旨の新聞報道がありました。気になる子どもに対し、夏休み期間中にどれだけ手当をしてあげられるか、教師の力量にかかっていると思う。
- ・夏休み中の大きな事故などはない。無事に2学期を迎えたい。
- ・総合教育会議がスタートした。市長との意見交換の場であり、良い会議にしていきたい。
- ・長崎市へのピースフォーラム派遣の報告会があった。参加した生徒たち一人一人がしっかりとした考えを持っており、有意義であった。吉永小百合さんから坪内逍遙大賞の賞金100万円を全額寄附していただいております。
- ・ダボ市派遣事業も無事、安全に帰国してきた。
- ・東中学校の安達楓恋さんが、陸上ハードルで全国優勝を遂げた。

## (3) 4月定例会会議録の承認について

安江委員長

それでは、4月定例会会議録の承認について、何かご意見等がございましたらお願いします。各課の構成図のほうもよろしいですか。

※特に意見等なし。

安江委員長

では、4月定例会の会議録は承認といたします。

## (4) 議事

### 議第5号 美濃加茂市の文化財の指定について（指定物件「史跡 旧太田宿本陣跡」）

安江委員長

では議事に入りたいと思います。

議第5号美濃加茂市の文化財の指定について、村瀬係長、よろしくお願いたします。

村瀬係長

※文化財の指定について資料に基づき説明

- ・当該物件について、所在地等再度説明
- ・文化財保護審議会へ諮問（教育委員会7月定例会で決定）し、審議会では満場一致で賛成であった。

安江委員長

ありがとうございました。何かご意見等ございますか。よろしいでしょうか。

では、議第5号につきましては、原案のとおり承認いたします。

### 議第6号 平成26年度美濃加茂市教育委員会事務の点検評価について

安江委員長

では続きまして、議第6号平成26年度美濃加茂市教育委員会事務の点検評価について、事務局の説明をお願いします。

小田島事務局長

委員の皆さんに第2次評価をしていただいたものを資料に掲げております。委員全員の評価が一致している項目についてはその評価とし、評価が異なる項目に関しては皆さんからご意見を伺い、決定していただければと思います。

まず教育総務課の事務から進めます。3番の学校施設の適正な維持管理事業につきましては、横堀委員がB評価です。

横堀委員

第1次評価で担当者・責任者が厳しくCを付けられましたが、日々一生懸命されているのを見ますと、Bとして、頑張ってもう少し何か切り口を見つけられるんじゃないかという期待を込めて評価しました。

小田島事務局長

事務局としましては、一生懸命努力はしているのですが、現状としてはなかなか解決が出来ないということが多いため、Cにしております。

安江委員長

更に頑張ってくださいということで、Cでいかがでしょうか。

※異議なし

小田島事務局長

6番目の放課後児童健全育成事業につきましては、事務局案はC評価で、渡邊委員と横堀委員がBという評価です。こちらについてはいかがでしょうか。

渡邊委員

評価の分かれた項目一つ一つについて意見を伺われるのも良いですが、多数決で決めていただければ私は良いと思うんです。評価が半々に分かれたような項目については意見を伺って決める必要があると思いますが、多数の委員がそういうふうに思ってみえるのであれば、それで決めていただけたほうが良いと思うんですが。

小田島事務局長                    ありがとうございます。では特段のご意見がある場合はぜひ主張してください。

日比野教育長                    民間委託が3年で終わります。様々な反省点も出てきていますが、地域の人材の活用とか学年に分けてやるとか、また子どもが自分で留守番ぐらい出来るようにならなければいけないとか。次に決まる業者に伝えれば、やってくれると思います。

小田島事務局長                    給食センターの異物混入防止については、事務局はCということですが。教育長はB評価です。

日比野教育長                    本当によくやっていると思います。あれだけ細かく注意しながらやってもらっていますが、完璧にして欲しい。

横堀委員                        異物混入は121件という数字を見てびっくりしました。きっと些細な物から色々あると思いますが、どの程度のものが今までありましたか。

小田島事務局長                    異物混入は全体で121件となっており、業者から混入してきた場合で給食センターで見つけた数は79件、キャベツに虫が着いていたものなどが含まれています。残り42件が、学校にまで行ってしまったものです。

横堀委員                        今まで一番問題と思われるような異物混入は、どういう事例がありますか。

小田島事務局長                    由々しき事例としましては、古井小学校で、パンケースの中に焦げをこすり落とすナイフがそのまま入っていたこと。原因を確認したところ、業者がケースに入れたまま出荷してしまった。道具類は数を数えることが基本。パンを数える時にもチェックが出来なかったのか、業者には未然防止に努めることをお願いしました。

横堀委員                        二度とあってはならないことだと思います。

日比野教育長                    また、42件の中には、学校で子どもが原因でというケースもあります。異物の連絡があって、給食センターが必死になって原因を調査するんですけど、調べてみると、児童が教室で使用する教材の一部が誤って入ってしまったり、手に付いていたクレヨンか絵具がパンに付いて汚れたものを青カビと見間違えたり。原因を特定するのも大変な労力です。そういうことも教育委員さんに知っておいてもらいたいと思います。

小田島事務局長 次に9番の給食費の徴収につきましては、事務局がDで、教育委員さん方がCとDそれぞれ3人ずつに分かれていますので、ぜひ皆さんのご意見をお願いします。

横堀委員 確か前回もそうでしたが、長期の滞納者が出ないように学校と連携を取りながら対応するという方針だけではちょっと甘いという思いがします。それだけ難しいんでしょうが、どんなふうに解決していくのかと。

渡邊委員 給食費の滞納についての対応を学校の先生の手から放してあげたいと思っています。給食費について先生が対応するような問題ではなくなってきている。そういう制度を変えて対応していただけると良いと思う。徴収の体制であったり、長期間滞納している人で高校に行っていたり大学に行っている人に対しても滞納額を請求していくのか。法整備をして何年か経ったら時効になるとか、学校や先生の負担を少しでも軽くしてあげられたらと思います。

小田島事務局長 このことについては税務課の方でも徴収に関する例規の整備について研究をしております、どうしても徴収ができず何年も未納になっているようなものについては不能欠損ができるようにしていこうと。しかし、学校に通学している児童生徒からは払えるなら払ってもらおうということで、児童手当から直接徴収するという方法も執りながら、学校でやっていたいただいているところです。

日比野教育長 全国にはいろいろな事例がありまして、「3か月滞納したらもうこの子の給食は出しません」と親に言うとおにぎりを持って来させると伝えたらピタッと滞納がなくなった。結局は親の問題ですから。また、裁判にかけるという方法もありまして、議会で名前を出しますよと伝える。そんな取組もありますが、大半はそこまでせずに、本市と同じようにどうしようかと悩みながらやっています。学校の先生がお金の回収をするということまでやっている国は他に無いと思います。

小田島事務局長 今では口座引落しになっていますので学校の事務職員が大体やっているんですが、現金で持って来ている児童生徒もあるようです。滞納者には事務職員や担任、教頭先生が請求をしてくださっています。

日比野教育長 担任が一番子どもの家庭の様子などを分かっていますので。

矢島委員 残高不足で引落しができないのですか。

小田島事務局長 口座残高が無くて引き落とせない場合もあります。お伝えすればちゃんと納めてくださる方はいますが、児童手当からの直接徴収を拒む方も

みえます。

日比野教育長

高校に進学してからだと小中学校の給食費を催促しても支払を拒否するようになる。それほど困窮しているわけではないんですが、払わない。本当に困っている人は手当なんかを回される。気になるところです。

安江委員長

税務課の滞納でも時効になって税金を払わない人がいたりとか。給食費はそんな形になるとまた難しいと思います。本当に困窮している家庭ではない人が滞納することは昔からの課題です。

横堀委員

このような議論は今までもしてきたと思います。私ももうすぐ8年経ちますので言うておきたいと思うことは、徴収率も低いまま困ったものだけと言うばかりで、その先へ進んでいないんです。だから今回も今後の方針について、これでは手ぬるいというふうにならなくていいなと思っていました。人事異動で担当が代わっていきませんが、申し送りしても結局その先を一步も進んでないんです。徴収に関しては何か思い切った方法をとるのですが、少しずつでもそうした取組みを考えていってほしいなと思います。

渡邊委員

昔は払わないと親のほうが恥ずかしいと感じて無理をしてでも払おうという気持ちがあったんですけど、今は大分そういう感覚も変わってきていると思うんです。子どものせいでも先生のせいでもなく、親が責任を果たしてないことに対して先生がエネルギーを使って、それでも何ともならない。先生も努力はしてるんだけど、それ以上時間も割けないからずっと先延ばしになってしまうのが現状です。やはり先生にお願いしている限りこの状態は今までと一緒で変わっていかないと思うんです。だから全く違うアプローチの仕方でやらないと変わっていかないと思いますし、人々の割り切り方が変わってきていますので、強制徴収などをやるような形にしていく必要もあるのかなと思います。

安江委員長

それでは多数決によりDということにします。  
進めていただきまして、学校教育課の事務をお願いします。

古川学校教育課長

全部で14項目の評価をお願いしました。  
6つ目の項目の英語教育推進事業につきまして、MET、EAS等の活動の在り方等について問題や課題もありますが、その辺りも踏まえまして、本年度まで東中校区の小中学校で推進してきましたものを、来年度以降は西中校区、双葉中校区の小中学校でも進めてまいります。

渡邊委員

いいと思いますが、小学校の先生方も英語の指導方法を学んだうえで先生になったわけではないので、そのところを上手くフォローし合いな

がら、どの学校の子どもたちも同じレベルの教育が受けられるように、東中学校区の実践で良いところを西中や双葉中校区の小学校にも整備するような形にして、同じレベルで上がっていけるような形にしていたら良いと思います。

日比野教育長

国の方針で、英語教育を小学校で行うよう一律に方針が出ているのですが、30年も40年も英語教育に携わってきたある教育長さんは、そんなにうまくいくはずがないと言っています。英語に限らず算数でも理科でも、教科担任制をやれば随分違うと思います。やはり小学校と言えども専門家を入れていくということが有効であると思います。

古川学校教育課長

今年度、市としてはカリキュラムを形にして下米田小学校が推進してまいりました。今後はその実践を広げて行くというスタンスで、美濃加茂市全員で同じような取組をしていきたいと考えております。

次に項目番号10のfrom0歳プラン推進事業のうち、特に各学校の特色ある活動に対する補助金の交付につきましては、更に中身の充実を図っていく必要があると事務局としても感じております。

渡邊委員

3年目になってきますので、本当に学校の特色が出せているのかという点で、校長先生とコミュニケーションを取りながら求めていっていただきたいと思います。校長先生が異動されるとその特色がそのまま次の学校に移っていってしまうようなことが見受けられなくもないですから、そういうところを十分コミュニケーションを取りながら上手に使っていただければと思います。

古川学校教育課長

ありがとうございます。次に項目12番目の不登校対策事業につきまして、2項目ともに評価が分かれておりますので、ご意見をいただきたいと思います。まずは教育相談についてお願いします。

渡邊委員

不登校については、不登校の生徒の数が昨年度より増えているためです。今年の人件が増えているのは、やはり去年の結果があつたことだと思いますので、B評価としました。

加納委員

先月の資料を拝見して、あまりにも衝撃的だった。本当に右肩上がり。たまたまではなく明らかに増えているという感じで、他にもっとしなければと思いました。

日比野教育長

ハイパーQ Uを導入して数が増えてきているようでは何をしているのか分からないですが、ハイパーQ Uを全教員が自分の物として活かしていくという姿勢を徹底していかないといけないのです。この不登校に関しては、相談できる雰囲気というか、教師が一人で抱え込まないで先輩

教師や誰かに相談できるようにしたいと思ってるんです。担当教諭だけでなく、他の教諭が他人事とせず、学校全体のこととして受け止めないといけない。また、あじさい教室の動き、子どもの観点というのも大事。学校現場や教育センターが把握し、気になる子どもの様子や情報交換をする必要がある。

古川学校教育課長

不登校の数は確実に増えてきてしまっているという現状を踏まえますと、この結果というのは大事な数字ではありますので、更に今後どういうふうにしていくかというのが課題だということです。次のあじさい教室の運営につきましてもきめ細かくスタッフが相談員等が入ってやっているということをご承知いただいていると思いますが、今後更に機能させていくために、B評価にさせていただこうと思います。

安江委員長

人数が増えたからBにするというのもあるかもしれませんが、教育相談の先生やあじさい教室では、不登校の子どもたちのために色んなことを一生懸命やっていたりしている。美濃加茂市だけでなく、全国的に不登校が増えていると聞きます。子どもたちも社会の変化と共に凄く変わってきている中で、先生たちは頑張っていると思っています。

渡邊委員

決して現場の職員の方々や先生方が何もしていないという意味ではなく、皆さん一生懸命取り組んでいただいている。ただそれで結果が出てこないというのは、やはりちょっと見方を変えてみたり、やり方を変えてみたりして、もう少し工夫してくださいというB評価なんです。全国で増えているから美濃加茂市も増えているというのではなく、美濃加茂市は減らしていきましょう。

横堀委員

私も、渡邊委員さんと同様に、何か出来ることがまだあるのではないかと、他の手を打てるんじゃないかという期待を込めて評価をいたしました。

日比野教育長

不登校はいけないからと、9月1日に無理やり学校に連れて行って、そのことが自殺につながってしまうようではいけない。命を救うことが大切なんです。先生が忙しいからと言って手立てを講じないのではなく、その子が夏休みをどうやって過ごしているか先生や担当が訪問したりして普段からどのようにその子と接するか。子どもにプレッシャーをかけるのではなく、「どうしてた？」などの声掛けをすることが大事です。

矢島委員

あじさい教室の先生方は、教室に来た子に対していつも色んなことをやっけていらっやいます。でも、教室に来ている子は少なく、教室に来ない子たちはどう過ごしているのだろうと心配しています。その子たち

への対応についてはどうなのかなとは思いますが、あじさい教室の運営に対しては凄く頑張ってくださいっているので、A評価としました。

古川学校教育課長

職員もあじさい教室も不登校傾向がある子については学校と連携を取りながら、学校も積極的に手を差し伸べるように努めています。あじさい教室に来ている子たちも学校に復帰したり、高校に進学したりして良い結果が出ている面もあります。ただし全体として不登校の数は増えているという現状の中で、これを良しとするのは本当にいいのかというご指摘はごもっともだと思います。

これらのことを踏まえまして、12番の教育相談につきましてはB、あじさい教室につきましてはAという評価とさせていただこうと思いますがいかがでしょうか。

安江委員長

はい、よろしいです。

古川学校教育課長

13番につきましては渡邊委員にAをつけていただきました。この項目につきましても更に研修の充実を図っていくということでBという評価でいきたいと思っております。

渡邊委員

毎月の定例会で、中島次長から研修の内容等について報告をいただきます。凄く熱心に取り組んでみえると思います。やはり学校現場の先生方の質が上がらないと子どもたちに良い教育は出来ないし、教育環境も良くならない。若い先生から管理職の先生まで、同じようにレベルアップしていけるような形で更に研修を続けていただくことが大切で、そういう努力が感じられます。

矢島委員

戻ってしましますが、教育総務課の4番の項目で洋式トイレへ移行されているんですが、衛生面を考慮してということですが、洋式トイレは綺麗にされてないと逆に病気が移ってしまわないかなと、婦人科の先生は公共の場所では和式を使って下さいって言われてるんです。便座を清潔にしないといけない。

それからタブレットなんですけども、タブレット導入によってパソコン教室を他の教室に使えるという話でした。体育の授業などで自分の姿を見て修正をしていくっていうのは凄くいいと思います。しかし、授業の中で何かをインターネットで調べるときに、本当に信用できる情報なのか、不純なものではないのか、十分に配慮をして使っていただきたいと思います。

古川学校教育課長

ご指摘の点はとても大事なことです。間違った情報もありますし、子どもが興味本位で見たりして、本来の趣旨と違うような活用もありますので、情報活用能力を育てていかねばならないと思っております。タブレ

	<p>ットは一つの教育の手段でありますので、タブレット端末に振り回されるような教育であってはいけないと思います。ただ有効な部分を活かしていくのは大事にしていきたいと思っています。</p>
矢島委員	<p>分かりました。それから、食物アレルギー対応支援員という方はいらっしゃるのですか。</p>
古川学校教育課長	<p>やはり特に食物アレルギーの症状がある子どもについては十分配慮しないといけないということで、そういう子どもの実態に合わせて間違いが無いようにしています。</p>
矢島委員	<p>9番目の項目で、音楽会に保護者の参加を中止したということがありましたが、これはどういう理由だったんですか。</p>
中島センター次長	<p>会場に席が少なく、学校ごとの入れ替え制で保護者に入っていたのですが、その入れ替えも十分出来ず、保護者同士のトラブルや、ザワザワしたりして、それなら本当に子どもたちのための音楽会にしたいということで保護者の方には遠慮していただこうと。駐車場などの問題もありました。その代わりに事前に学校で披露するなどして保護者に観ていただいております。</p>
小田島事務局長	<p>矢島委員がおっしゃった洋式トイレへの改修につきましては、新しく造り替える場合は和式を洋式にしているのが現状です。新しくなった所については上手に使っていただくよう学校へお願いしながら子どもたちにも学んで欲しいと思います。婦人科の先生がおっしゃるのは気になりますが。</p>
安江委員長	<p>トイレットペーパーの量も便座を拭いたりして増えるかもしれません。</p>
横堀委員	<p>いろんな施設が今や洋式になっていますから、家庭や学校の指導で子どもたちがマナーを身につけないと。よほど普通の公共の場で使っている分にはそういう問題はあまり聞かないですけど。</p>
安江委員長	<p>ありがとうございました。 ところで、これらの評価については、また新しい評価表をいただけるということでしょうか。</p>
小田島事務局長	<p>今日評価をいただきましたので、まとめてホームページへ掲載したり、議会へも報告をさせていただきます。</p>

安江委員長

分かりました。そちらのほうもよろしくお願ひいたします。

## 議第7号 平成27年度一般会計補正予算について

安江委員長

続きまして、議第7号平成27年度一般会計補正予算について、お願ひいたします。

小田島事務局長

こちらの案件につきましては、今度の9月の市議会に上程しようと思っっているものです。

2点ありまして、1点目が小学校の運営事業の委託料ということで、工事の設計をお願ひしようというものです。対象は古井小学校と加茂野小学校で、いずれも今後子どもの数が増える見込みのため、古井小学校はパソコン室を特別支援教室に利用できるよう仕切りを設置し、内装も併せて改修しようと思っております。またワークスペースを教室に改造していこうというものです。加茂野小学校につきましてもパソコン室を教室にと考えております。今回の補正予算をさせていただいて、設計を今年度中に行い、来年度の夏休みに施工出来るようにするものです。

もう一つが三和小学校の自動火災報知機の設定改修工事ということで、火災が発生したときに出火場所を示す大きな装置があるんですが、その装置が故障しておりまして、早急に交換をしたいというものです。補正予算で出させていただいて至急改修していきたいと思ひます。これにつきましては小学校の施設営繕事業で571万円でございます。

安江委員長

何か質問等ございましたらお願ひいたします。よろしいでしょうか。では、議第7号は原案のとおり承認します。よろしくお願ひします。

### (5) 協議・報告事項

### (6) その他

#### 1. 教育センター

安江委員長

次に協議・報告事項ですが今回は特にありませんので、その他に入らせていただきます。

まず教育センター中島先生お願ひいたします。

中島センター次長

※資料に基づいて教育センターの取組について説明

- ・ハイパーQ Uに関する教職員研修について、来年度は学校へ出向いて学校単位で行います。
- ・その他、研修・講座等の案内

## 2. 学校教育課の行事予定

安江委員長 | 学校教育課の行事予定を、古川課長お願いします。

古川学校教育課長 | ※資料に基づいて説明。  
・ 9月、10月の行事予定を説明

### その他連絡

長谷川課長補佐 | 放課後児童クラブの民間委託に係るプロポーザル方式の審査委員に教育委員さんに加わっていただく場合にはよろしくお願いします。

### 次回教育委員会の日程調整

小田島事務局長 | 9月は24日木曜日、午後1時30分から、分庁舎4階で行います。  
10月も先に決めておきたいと存じますが、10月29日、木曜日の午前10時からお願いします。  
また、教育委員研修を企画したいと思っておりますが、今日のお話を伺うと不登校について随分話題に出ましたが、不登校について先進的に取り組んでいる自治体とか、ユニバーサルデザインについてなど、他にも視察内容についてご意見がございましたら。

渡邊委員 | 不登校についてはどうですか。

小田島事務局長 | 不登校でしたら、時期や場所は未定でございますが、先進的な事例がありましたら相手方と調整いたします。

安江教育委員長 | それではよろしいでしょうか。今日は午後から総合教育会議に続きまして定例会ということで本当にご苦労さまでした。  
これで8月の定例会を終了いたします。ありがとうございました。

閉会 午後4時55分